

IZUNO TIMES

Vol.86

2024年7月19日 発行【第86号】

島根県立出雲農林高校 PTA
〒693-0046 出雲市下横町950



出雲農林高校 メールシステム登録



登録用 QRコード

学校—保護者間の連絡用に
携帯メールを利用しています。
災害時などの緊急連絡や、
日常の諸連絡の一部を
携帯メールにて行います。

TOPICS

- ★校長先生より
- ★PTA会長より
- ★モーリン休憩所前道路の
拡幅工事 完成について
- ★各部活動の活躍
- ★各学科より
- ★出雲農林高校発表会
- ★家畜審査競技県大会結果
- ★農業鑑定競技校内大会
- ★平板測量競技校内大会



出雲農林高等学校ホームページ
www.izuno.ed.jp



出雲農林高校
イメージキャラクター
モーリン

見つけよう 自分の力の可能性

～好きなことを追求し、人生に輝きを～



島根県立出雲農林高等学校長 黒崎 千春

令和6年度がスタートしました。昨年度本校は創立90周年の節目を迎え、そして100周年に向けて新たなスタートを切ったところです。

90周年の記念式典では、植松電機の植松努さんに記念講演をしていただきました。植松さんは、お母さんから思ったらそうなるという意味の「思うは招く」という言葉を教えてもらい、思い続け夢を叶えてこられました。そし

て「どうせ無理」という言葉を「だったらこうしてみたら？」に変えることで夢は叶うと教わりました。「どうせ無理」という言葉は、人のやる気や可能性を奪います。興味を持たなくなり、やる前にあきらめ、考えなくなってしまいます。一方、「だったらこうしてみたら？」という言葉は、人の可能性を広げます。やったことが無いことに挑戦し、あきらめず、より良くを求めるようになります。友人との会話でもお互いに夢を話し、お互いに「だったらこうしてみたら？」って言いあえたら全員の夢が叶います。本校でもぜひ皆さんで「だったらこうしてみたら？」をはやらせていってくれることを期待しています。

今年度も3か月たち、様々な教育活動が展開されています。また、県総体、出農発表会、農業クラブの各種大会も実施される中、生徒たちの活躍にも光るものがありました。生徒の皆さんには、好きなこと、得意なことで活躍し、輝いてくれることを願っています。

そのためにまずは、自分の好きなこと、興味のあることをいくつかリストアップしてみてください。自分がどんなものが好きで、心が豊かになるのかを知ることは人生に輝きを与えてくれます。そして、忙しい日常の中でも、好きなことに時間を割くことが大切です。そのためには時間の管理や優先順位を考え、自分の時間を有効に使うことが必要です。好きなことに集中する時間が、充実感と喜びをもたらします。

また、好きなことを友人と共有することで新しい視点や刺激を得ることができます。同じ趣味や興味を共有する人たちとの交流は、喜びを倍増させ、新たな発見や友情が生まれるかもしれません。

さらに、好きなことを活かすためには、新しい挑戦にも積極的に取り組むことが重要です。未知の領域に踏み出し、新たなスキルや知識を身につけることで、好きなことにさらなる深みが加わります。

そこで皆さんにメジャーリーグで活躍する大谷選手のある言葉を紹介します。それは、「先入観は可能を不可能にする」です。この言葉は、大谷選手が高校時代に“好きな言葉”として挙げたフレーズで、大谷選手の「座右の銘」だそうです。自分の能力の限界を決めているのは、実は自分自身です。多くの者が、自分には特別な才能はないと思い込んでしまっています。その先入観こそが自分から夢を遠ざけています。「自分の才能は無限だ」というメッセージを何度も自分に言い聞かせ、「自分には無理だ」という先入観を削除すること、これこそが最強の成功の法則だと思います。

是非とも自分の力の可能性を見つけてください。そして、その可能性を追求し人生を輝かせてください。

PTAの皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。山田会長様をはじめ、役員の皆様には今年度中心的に活動していただきますことに心から御礼申し上げます。よろしく願いいたします。